

◇「アート思考 ビジネスと芸術で人々の幸福を高める方法」(2019年、秋元雄史著、プレジデント社)

これからの AI、IoT 時代において大学教育等の基本的視点（考え方）をどのように設定していくかについては、今日多くの意見、考え方があります。

そのような中で、「STEAM 教育が大切である」という考え方は注目に値すると私はかねてより考えています。

よく知られていますように、このキーワードはオバマ大統領が演説で使用したことから広がり、今では文科省もそのような考え方を発表しているようです。S は science, T は technology, E は engineering, M は mathematics そして A は art です (A が後で付け加えられた)。

武庫川女子大学の現状と照らし合わせてみますと、食物栄養、建築、生活環境、情報、看護、などを通じて理系 (science, technology, engineering, mathematics などの分野) の切り口は持ちつつあると思われませんが、アート (芸術といっても構いません) のイメージが世間にあまり浸透していないのではないかと、という印象を私は持っております。

アートはこれから必要とされる「発想、変革、イノベーション、創造、変革、生きる力、生命力、柔らか頭、面白い武庫女・・・」といったことにつながっています。ひいては「一生を描ききる女性力」を育てていくためにも恐らく今後必須の“切り口”になっていくと考えます。

そのようなことから、武庫川女子大学におけるアートに関するビジョンを持っておく必要性を感じています。

・・・以上のようなことを大学常任理事会などで提言していますが、その過程でアートの重要性を、アートに疎遠な分野の上層部の先生方に短時間で説明しご理解いただくことは、思いのほか大変でハードルは高いな、と感じています。何かストレートでかつ分かりやすい言葉はないものか、などと思いを巡らせているとき、この本に出会いました。

この本は、「ビジネスパーソンにアートに対する興味が生きているから、その間をつなぐ本が書けないか、という編集者から依頼を受け」書かれたものとのことです。

そこには、アート思考の本質やビジネスの世界がアートの世界に意外と近いのではないかと、いった興味深い視点からやさしく書かれています。それは現代アートの入門書とも言えます。注目される現代アーティストに対する紹介もあり、一見難解な現代アートのまえで戸惑っている人にとっても嬉しいガイドブックでもあります。